

平成30年12月17日

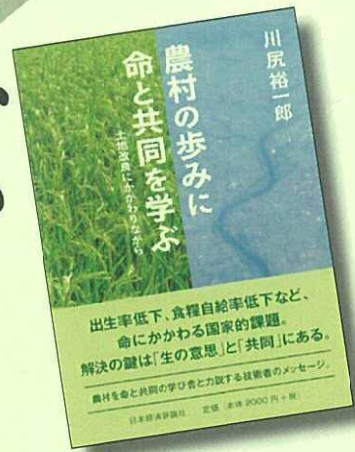
お知らせ

当会で技術顧問を務められた川尻裕一郎氏がこの度、著書「農村の歩みに命と共同を学ぶ 土地改良区にかかわりながら」を上梓されましたのでお知らせします。

ご購入を希望される方は、直接、発行元へご注文をお願いします。

農村の歩みに 命と共同を学ぶ

川尻裕一郎【著】



四六判 上製 236頁
定価 2000円 + 税

土地改良にかかわりながら

出生率低下・食糧自給率低下など
命にかかわる国家的課題。

解決の鍵は「生の意志」と「共同」にある。

著者は農村を命と共同の学び舎だと力説する。

自身の経験を基に生を目的になされてきた共同を知り
その意味を考える参考例を提供する。

著者紹介

現場、農水本省・地方局を経て、研究所長、
大学教授、全国土地改良事業団体連合会技術
顧問、NHKに用水路熱中人で出演

例えば、

共同について著者が考えやっと至った気づきとは、
ビーバーのダムと人間のため池の違いから現れる
もの、それは「人間の本能の一部の外化が知の共
同（あるいは、共同そのもの）を必然する。」との
気づきである。

（第二編Ⅱ章生物の基本機能としての土地改良から）

あとがきから

「田園誕生の風景」での「生きていたい死にたくない」
は本書で「生きよと言う声」に至ることが出来た / 海
原へと流れゆく家の上に我より先に他人を押し上げよ
うとする姿に「草木の茂る国の民の」根底にあるもの
をみた / 「生の哲学」の似姿になっているようだ。

書籍のご購入について

書籍は、書店でもご購入になれます。弊社にご注文
いただいた書籍は、郵便振替の用紙と一緒に発送い
たします。お手元に届き次第お支払いください。送
料は、別途いただきます。ただし6冊以上は送料サー
ビスといたします。

おもな内容

序 農村の歩みに命と共同を学ぶ

第一編 ため池と里芋

- I ため池のある風景
- II ため池に想う
- III 里芋考
- IV 外来稲作の受容構造

第二編 技術と知

- I 「知」の共同体と“自発的知”の創造
- II 生物の基本機能としての土地改良
- III 鈴木大拙の「日本的靈性」
- IV 土地改良の現場で技術は如何にして誕生したか

第三編 汝は何故に斯くも美しきか、何故に水の姿を纏しか

- I 水と十一面観音～発句編～
- II 水のある風景
- III 上流優先（優位）と境界
- IV 水の行方
- V 水の分岐をもたらすもの
- VI 閑話休題 “生命の特徴と登山の特徴”
- VII 低平湿地の植生と食用植物
- VIII おわりに～水田灌漑システムの発展過程～

第四編 残る響き

エッセイ「蒲原にて」から / 散文詩二編

日本経済評論社

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-7-7
TEL : 03-5577-7286 FAX : 03-5577-2803
E-mail : info8188@nikkeihyo.co.jp

ご注文 FAX 番号 03-5577-2803

川尻裕一郎著

農村の歩みに命と共同を学ぶ

土地改良にかかわりながら

ISBN978-4-8188-2514-7 C1061 2000円 + 税

日本経済評論社

氏名

住所 〒

電話

冊